

令和元年度 各委員会 プロジェクトの調査テーマ

半田市議会では、各委員会が目的意識をもって調査テーマを設定し、課題の解決に向けて調査・研究を1年間行っています。今年度の調査テーマについては以下のとおりです。

総務委員会

新しい広聴のあり方について

現在半田市では、総合計画をはじめとした、各種計画の策定・見直しに、幅広く市民から意見を聴き、その反映に努めています。

しかし、市民の関心が高い施策や事業の計画立案には、十分な市民参加が得られていない状況です。

市民協働を進めている半田市として、今後、企画段階から、市民の声を幅広く聴くことで市民の望む、よりよい市政を実現していくことが出来ます。幅広い市民の参加を求め、その声がこれまで以上に市政に反映されるよう、市民モニター制度、市民討議会等の、新たな広聴の手法やそのあり方について、調査研究を行います。そして、今後、幅広い市民の声を活かした市政運営が為され、協働のまちづくりが、更に推進されるよう取り組んでいきたいと考えます。

文教厚生委員会

生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について

平成13年に国が「文化芸術振興基本法」の制定して以降、文化振興は多くの自治体で重要施策として捉えられています。県下でも文化振興計画を整備している自治体は、20を数えるまでになっています。

文化として捉える分野を定め、目指す目標や取り組み方を見直すことは有意義なことです。近隣でも「文化振興計画」を策定し、目覚ましい成果を出している自治体もあります。先進自治体の中には、所管を市長部局に移し、より積極的な推進を図っている事例もあります。

半田市の「文化振興」は、生涯学習推進計画の中の一つの項目に位置付けられ、教育委員会の所管となっています。「文化振興」を進める目的を再確認し、豊かな市民生活活造りに繋がるよう見直しを図っていきます。

建設産業委員会

都市計画マスタープランから見た景観を生かしたまちづくりと地域活性化について

半田市における景観を生かしたまちづくりについては都市計画マスタープランで五つある都市づくりの目標の一つに、「歴史と文化が薫るまち半田」と説明があります。具体的には平成22年策定の景観計画と連動しながら景観形成重点地区整備事業（景観整備工事と景観形成に寄与する建築物等への助成を行う）と、ふるさと景観づくり推進事業などを実施しています。

ところが、景観形成重点地区になっている亀崎地区、岩滑地区、半田運河地区ともに景観の形成が遅々として進みません。また、保存すべき建築物の解体が進むなど、半田市民の心の故郷をどうすべきかの岐路に立たされていると言っても過言ではありません。そこで、現在半田市が取り組んでいる景観を生かしたまちづくりと地域活性化を大きく前進させる手立てを調査研究します。

議会運営委員会

議会のICT化について

議会運営委員会では効率的で迅速な議会運営を行う有効な手段として、ICT（情報通信技術）を調査し、議会関連資料の電子化、ペーパーレス化、文書の保存・管理の効率化を調査研究します。

政策調査プロジェクト

小中学校等での日本語教育の対応について

市内小中学校には、日本語教育が必要な児童生徒が令和元年5月1日時点で20名それぞれ小学校へ通学しています。一日でも早く日本語でコミュニケーションがとれ、皆と一緒に授業が受けられるよう効率的な日本語教育環境が整うことを望みます。以上、議長より諮問を受け速やかで的確な提言をするため調査研究します。